



## 今月のお題

---

### 保育の見直しについて 検討していますか？

「去年までやっていたから」「伝統があるから」などの言葉は、保育の見直しの際に大きな壁になることもあります。大きな変革ではなく、小さな日常の出来事を少しずつ見直していくことが子どもにとって楽しい園生活につながる可能性があります。保育者が1人で改革するのは困難です。障害のある子どもの姿を園全体で共有したうえで、仲間の保育者と一緒に考える機会をもつことが大切です。

## 見直しの視点

---

#### ☐ 行事の見直し

行事はとても大切です。大切だからこそ、園全体で楽しく取り組みたいものです。障害のある子どもが排除されない行事をつくるには、子どもの興味・関心を大切にしながら日々の積み重ねと行事をつなげることを意識したいものです。

#### ☐ 日常の保育を発信

保育が変化していく時は、なぜ変化させる必要があるのか、どのように変化したのか、そのことが子どもの育ちにどのようにつながったのかをできるだけ見える化して、保護者へ発信することと園内で共有することが大切になります。

#### ☐ 保育の見える化

昨今はアプリ等を活用して保育の見える化を実現している園が増加傾向にあります。働き方改革と作業効率を高めるためには、そのような新たな取り組みが必要になります。園での導入を少し長期的な視点に立って検討してみましょう。